



「祝福・長所を伸ばす」

校長 山浦 麻紀

葉牡丹

花言葉・・・「祝福」

穏やかな天候の年明けとなりました。祝福です。令和8年、どうぞ本年も宜しくお願ひ申し上げます。保護者・地域の皆様、同窓生の皆様方には、昨年中の本校に賜りました御理解、御協力に感謝申し上げますとともに、令和8年が良い年でありますようお祈り申し上げます。

私はお正月の風物詩ともなっている関東大学駅伝（箱根駅伝）を毎年楽しみにしています。駅伝には長い距離を走り、一本の櫂を「繋ぐ」という独特的の魅力があり、一人でも脱落することができない厳しさも含め多くの人々から応援される競技です。本年も、この箱根駅伝のように、人と人との「繋がり」を大切にして生活していきたいものです。そして、新たに立てた目標の実現に向かって、一歩ずつ、小さな小さな歩幅でもよいので着実に前へ進んでいきましょう。

一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言い訳が出る
(武田 信玄)

さて、いよいよ今年度のまとめとなる3学期が始まりました。1月は（行く）、2月は（逃げる）、3月は（去る）などと言われるほど3学期はあっという間に過ぎていってしまいます。その一方で、「3学期はゼロ学期」とも言われ、次の学年や、新しい生活への準備もしなくてはならない学期でもあります。特に3年生にとっては9年間の義務教育を修了する大事な学期です。自慢の3年生、きっと残りの期間を有意義に過ごし、3月には本校の生徒としての誇りをもって卒業してもらえることと思います。

本日の始業式で生徒の皆さんに「全力で自分の長所を伸ばして欲しい」について話をしました。「まず自己を見直し、自分の長所、短所をしっかりと確認することが大切である。そして、自分の長所と思うことを全力で伸ばす努力をして欲しい。」と伝えました。苦手を補うことも重要ではあるけれど、長所を伸ばそうとすることで前向きで意欲的な生活が送れることでしょう。長所は個性となり、さらに自信にも繋がることでしょう。

そのためにも年度当初に掲げた「人間一人ひとりを大切にして欲しい・・・人間誰にでも、必ず、良さがある。合わせて不得手なこともある。相互に足らなさを責めるのではなく、よさを認め合い、足らなさを補い合い」・・・を全力に生活して欲しいと思っています。

まだまだ寒さはこれからが本番です。子どもたちが風邪などの予防対策や交通ルールを守り、健康的な生活を送ることができますよう学校でも努めてまいります。引き続き、御家庭での御理解、御協力も宜しくお願ひ致します。